

あらえびす記念館で写真展を行っています。

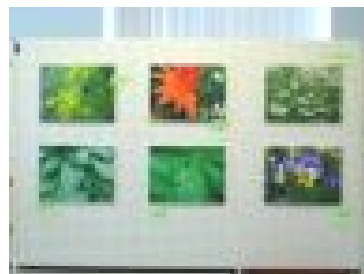
平成17年6月9日～8月21日まで

この写真展は、あらえびす記念館から企画展の依頼を受けた紫波町環境課が、みらい研究所に「協働により取り組みたい」という話を持ちかけ、みらい研究所の企画提案により開催することになりました。

記念館では、6月が環境月間に当たることから、町民の環境に対する意識を高めること、あわせて記念館来館者のサービス向上を目的とした環境に関連した企画展を希望していました。

この写真展は6月9日から8月21日まで行われ、6月から7月中旬までは平成16年5月に行った「『写そう！ぼくらの“まち”を』デジタルカメラ環境探検隊」の写真展を行っています。

皆さんもぜひご覧ください！



参加者募集！

紫波の今、未来について語ろう！ 岩手大学生との交流会

岩手大学教育学部で、紫波町が進める循環型まちづくりを題材にした「社会教育課題研究」を受講している学生たちが、7月2日から7月3日にかけて一泊研修のため紫波町にやってきます。

2日の夜にはラ・フランス温泉館湯楽々交流プラザで、講師や学生たち、みらい研究所との交流会が行われます。会員の皆さんも参加して学生たちと一緒に、紫波町の現在や未来、NPOの役割などについて（食事をしながら...）語り合ってみませんか。

日時 平成17年7月2日（土）午後6時～
会場 ラ・フランス温泉館 湯楽々交流プラザ
会費 未定です



写真：理事長の講義

参加を希望される方や詳細を知りたい方は事務局へご連絡ください。お待ちしております！

編集後記

「みらい通信」ではなるべくタイムリーな情報を提供できるように心がけていますが、行き届かない場合があります。事業情報等お知りになりたい方は遠慮なく事務局にお問い合わせください！

みらい通信 第9号

発行元 NPO法人紫波みらい研究所
連絡先 〒028-3305
岩手県紫波郡紫波町日詰字郡山駅57-3
電話・FAX 019-676-6103
E-Mail miraiken@shiwa-mirai.com
ホームページhttp://www.shiwa-mirai.com
発行日 平成17年6月

目次

参加しました！	1P
平成17年度通常総会のお知らせ	2P
理事会のお知らせ	2P
各部会で話し合われたこと	3P
地域における伝承等聞き取り保存事業報告会	4P
投稿	5P
催し情報	6P



写真：地域における聞き取り保存事業報告会

参加しました！（50音順）

5/26 平成17年度通常総会（交流会）

阿部隆、阿部昌利、阿部礼子、伊藤地歩、大内昭一、籠澤早織、帷子明彦、かとうじ山こだまの会、株式会社グローバル伸和製菓、川村浩亮、熊谷勝子、笹井由香、佐々木幸夫、佐藤由美子、志田澄子、菅原和博、瀬川勲、高橋米勝、多田祥一、塚田司郎、長谷川杜山、藤滝学、細川一三、細川栄子、八重嶋雄光、八重畑祐見子、吉田修

6/4 地域における伝承等聞き取り保存事業報告会

籠澤早織、笹井由香、佐藤勇悦、佐藤由美子、高橋米勝、藤滝学、森川一成、八重畑祐見子、吉田修

記入もれがあったらすみません！

平成 17 年度通常総会のお知らせ

平成 17 年 5 月 26 日(木) 午後 6 時 30 分より、盛岡南ショッピングセンター-NACS において、平成 17 年度通常総会を開催しました。会員総数 88 人中、27 人(委任状 31 人)が出席し、次の議案について話し合いが行なわれました。

第 1 号議案 平成 16 年度の事業報告並びに収支決算書、貸借対照表、利益処分案の承認について

第 2 号議案 平成 17 年度事業計画並びに収支予算の決定について

任意団体としての設立から 3 年目に当たる平成 16 年度は、継続事業はもちろんのこと、会員独自で計画立案した事業が増え、これまで以上に活発な活動が行われました。

また、平成 17 年度事業計画「5『紫波町循環型まちづくり PR センター(仮称)』の建設協力」について会員から「この PR センターの情報をもっと早く知っていたら、会員みんなでどういう PR センターを作りたいか考えて提案できたはず！情報が遅い。」という意見が出されました。これは、「虹の保育園の火災被害木をなんとか再利用できないか」という森と家づくりの会の発想を受けて理事会で話し合い、「紫波町の循環型まちづくりを PR する建物を建てたらどうか。」という提案を紫波町に行なったという経緯があり、建築の実現に向け多くのデリケートな課題を抱えていたため、全員での協議を経ることができませんでした。

今後は、提案内容の実現に向け、森と家づくりの会が中心となって、町との話し合いを進めていくこととなります。何か具体的なアイデアをお持ちの方は、森と家づくりの会または事務局までご一報ください。

平成 17 年度も会員一人ひとりが力を出し合い、会員自らが楽しんで、参加できるような活動を行なっていきましょう。



理事会のお知らせ

平成 17 年度第 3 回理事会

日時 平成 17 年 6 月 1 日(水) 午後 6 時 30 ~
銭形平次会館

出席理事 高橋米勝、阿部昌利、阿部礼子、細川栄子

事務局 佐藤由美子

- 内容
- 1 各分会報告
 - 2 岩手大学教育学部「社会教育課題研究」
 - 3 町制施行 50 周年記念事業について
 - 4 第 20 回紫波町緑の祭典への参加について
 - 5 視察の対応について
 - 6 あらえびす記念館写真展について

7 月理事会 7 月 1 日(水) 午後 6 時 30 分 ~
銭形平次会館

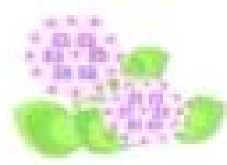
平成 17 年度第 4 回理事会(臨時)

日時 平成 17 年 6 月 6 日(月) 午後 6 時 30 ~
銭形平次会館

出席理事 高橋米勝、阿部昌利、阿部礼子、菅原和博、
細川一三、細川栄子、吉田貴浩

事務局 佐藤由美子

- 内容
- 1 岩手大学教育学部「社会教育課題研究」一泊研修について



投稿—ふれあい広場—

中田久敏

NPO 法人紫波みらい研究所の会員となってから 3 年目を迎えました。この間、研究所と私の職場(環境課)が同じ建物の中ということもあり、研究所の活動をつぶさに見てきました。仕事の合間を縫っての理事の精力的な活動、仕事の疲れを吹き飛ばして部会に参加する会員、夜遅くまで、資料の作成やホームページ、機関紙の原稿作りをしている事務局。これらの地道な活動により今日の紫波みらい研究所があるといっても良いでしょう。この活動を支えている源は、新世紀未来宣言に謳われている「紫波の環境を百年後の子どもたちによりよい姿で残し伝える」ことへの共感と考えます。

今後、ますます、紫波みらい研究所の活動を活性化していくためには、会員の参加が何よりも大事になってきます。しかし、会員の中には参加したくても情報が中々伝わってこないと言う方もいると思います。紫波みらい研究所では、ホームページの開設、機関紙「みらい通信」の月 1 回発行により、情報の発信をしようとしていますが、現在の NPO の体力では、どうしてもタイムリーな発信には限界がありタイムラグが生じることは否めません。

そこで情報についてですが、NPO は「会員が持つ価値観により目的達成のため自発的に参加する」ことが原則とすると、情報は一方的に受けるのではなく積極的に求めることが、必要ではないでしょうか。この場合の「求める」とは、情報の提供回数の増加を求めるということではなく、自らが求めることを指します。例えば、研究所に足を運ぶことにより、タイムリーな情報と参加の機会を得ることができます。そう考えると、ある程度の情報が NPO から発信されているわけですから、「必要な情報が伝わってこない」というのは個人の情報収集不足という見方も出て来るわけです。

紫波みらい研究所はまだまだ若い NPO です。この NPO を育てていくためには、会員が我が子のように見守ることと同時に手を引いて導くことが大事です。地元学では、「ないものねだり」ではなく「あるものさがし」という表現が良く使われます。NPO が今できること、将来できることを会員が理解し、今持っていないものを求めるのではなく、今、NPO が出来ることを一緒に考えていくことが大事だと考えます。

最後に、アメリカ第 35 代大統領である J・F・ケネディの言葉を引用させていただきます。

My fellow Americans; ask not what your country can do for you, ask what you can do for your country.

JOHN F. KENNEDY

(国があなたのため、何をしてくれのかを問うのではなく、国のため、あなたが何をすることができるのかを問うてください。)

みらい研究所に対する意見や事業のアイデアなど、自由な投稿をお待ちしております。